

こぶしの風

第19号 平成28年8月10日発行

発行：社会福祉法人**信濃こぶし会**

広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1

電話 (0265) 35-8511 FAX (0265) 35-9016

URL <http://kobushikai.or.jp/>

E-mail kobushi@dia.janis.or.jp

ゆうま
木下佑天さん

稲本照葉さん

M.Sさん
(題字：グース合作)

平沢太一さん

水族館で同窓会



ヘルパーステーション:名古屋港水族館にて

目次

ぼっぼ3月完成に向けて近く着工	2P
こぶし園田中允人さん SO本大会への出場決定	2P
平成27年度の事業・決算報告	3P
夏の行事あれこれ	4・5P
アイビスの中学生 高校の公開授業を見学	6P
軽のリフト車を導入 細きよすが第6報	6P
いざという時のために 「在宅での呼吸管理」勉強会	6P
保護者の広場 利用者さんの横顔	7P
職員の素顔 職員の動き 編集後記	8P



海の楽しい仲間たち 作：パドルダック 熊谷柚優さん

安心して暮らせる地域をつくるために

ぽっぽ3月完成に向けて近く着工

数年来の課題であったユアサポートぽっぽの移転新築が、ようやく進展してきました。

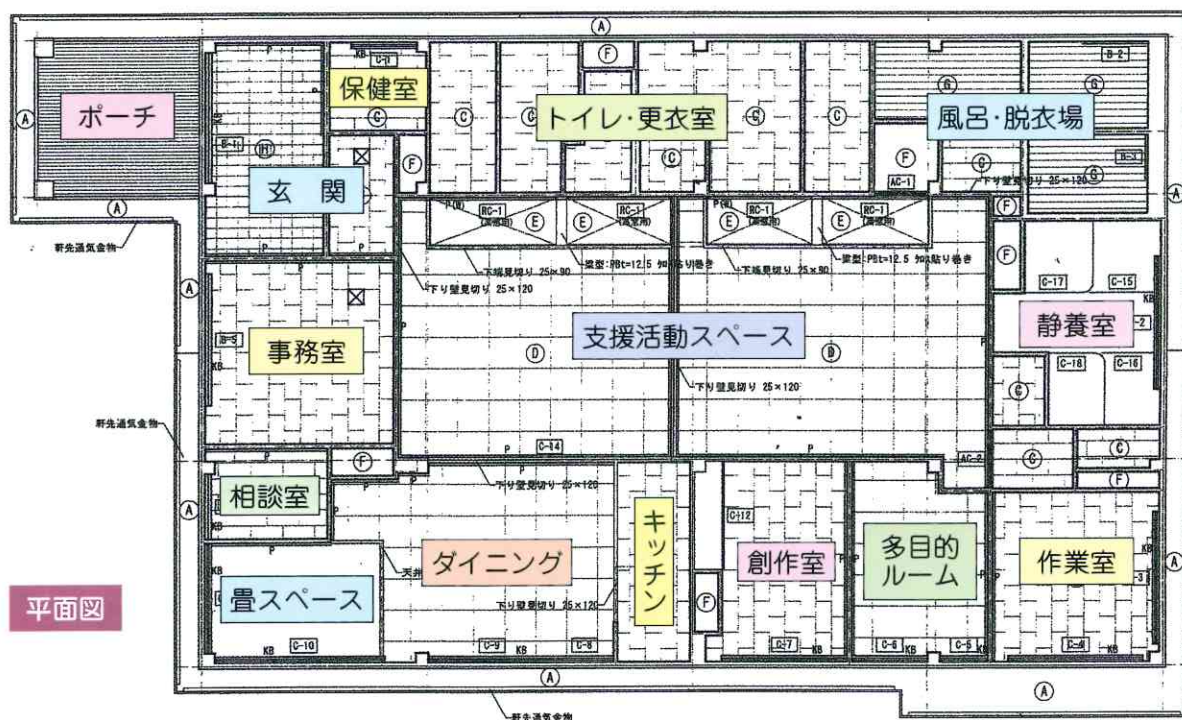
現在のぽっぽは支援センターの2階にあるということ、建物が耐震構造ではないことで様々な制約を受けており、今後の利用者の増加や高齢化、車いすへの対応など、バリアフリーの施設が必要でした。

そのような中、お陰様で農協の跡地に敷地が確保でき、8千万円を超える補助金も頂けることが決まりました。現在は建物の設計作業を進めているところです。今後入札によって業者を決定し、8月の内には着工、来年3月中の完成を目指して工事を進めて参ります。

順調に進めば、この秋には大きな新しいぽっぽの建物が見えてきます。

新しいぽっぽは、建物の真ん中に大きな食堂兼活動スペースを取り、その周りに作業室、創作室や休養室、畳スペースなどを配置して、今より伸び伸びと活動できるようにになります。9月以降、だんだんと出来上がっていく新しいぽっぽの姿を楽しみに御覧ください。

なお、建設予定地は今まで駐車場として利用していましたが、着工までにはグループホームいちょうの西側に40台ほどの駐車場を整備していくこととしています。



平面図

こぶし園 田中允人さん SO本大会への出場決定



来年3月14日に開催される『スペシャル・オリンピックス』本大会へ田中允人さんの出場が決定しました。日本から53人のアスリートが出場します。プレ大会ではジャイアントスラロームで金メダルに輝いた田中さんに大会への意気込みをお聞きしました。

Q. 出場が決まった時の気持ちは？

行けるとは思っていなかったもので、本当に行けるんだとビックリしました。

Q. 出場に向けてどんなことに取組んでいますか？

まだ練習は始まっていませんが、体重を落とそ

うと頑張っています。

Q. 本大会もオーストリアでの開催になりますが、心配なことはありますか？

今回は、オーストリアの家庭に3日間ホームステイします。どんな食事がでてくるのか心配です。それと、言葉の壁にぶち当たりそうです。

Q. オーストリアのおすすめのお料理は？

鶏肉の料理がおいしかったです。小麦粉をつけて焼いてある料理が多かったです。食事はナイフとフォークで食べなければならないので、フルコースのようでした。

Q. 大会での目標は？

プレ大会より上のクラスで金メダルを取りたいです。

社会福祉法人信濃こぶし会

平成27年度の事業・決算報告

平成27年度は、当初ユアサポートぽっぽの移転改築を挙げてきましたが、補助金等の見込みがつかず先送りの状態となっていた。幸い27年度の補正予算での方向が示され、来年3月の完成に向けて動き出した。

施設整備関係では、喬木支援センター前の駐車場整備、ヘルパーステーションの活動拠点やグループホームの日中活動の場となる多目的施設2棟を建設し、戸建アパートを活用したグループホームを開設した。

運営面では、事業所間の連絡を密にし、委員会等を中心に職員研修、虐待防止、安全対策などへの取組みをしてきた。支援面では、事業所ごと内容の見直し反省を常に行い、支援内容の充実に努めてきた。

決算面では、27年度より新会計基準による経理に移行し、こぶし会では法人全体を一つの拠点区分とした決算を行なった。26年度からの収入アップ、経費節減への取組みを引続き行い、一定の成果を見ることができた。



完成したハーツスペース(左)とパワーすぽっと(中央)

事業活動計算書

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

(単位 円)

勘 定 科 目			当年度決算	前年度決算（参考）	増 減（参考）
サービス活動 増減の部	収益	就労支援事業収益	14,093,170	12,681,715	1,411,455
		障害者福祉サービス事業収益	307,750,142	303,090,226	4,659,916
		収益計	321,843,312	315,771,941	6,071,371
	費用	人件費	208,209,272	190,019,684	18,189,588
		事業費	23,718,157	20,246,722	3,471,435
		事務費	26,388,258	30,576,668	△4,188,410
		就労支援事業費用	13,535,548	12,611,954	923,594
		減価償却費	25,914,888	24,877,518	1,037,370
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,304,660	0	△12,304,660
		費用計	285,461,463	278,332,546	7,128,917
		増減差額	36,381,849	37,439,395	△1,057,546
サービス活動 外増減の部	収益	受取利息配当金収益	65,160		
		その他のサービス活動外収益	5,195,324		
		収益計	5,260,484		
	支出	その他のサービス活動外費用	1,433,063		
		費用計	1,433,063		
		増減差額	3,827,421		
経常増減差額			40,209,270		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,040,000		
		収益計	2,040,000		
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,040,000		
	費用	費用計	2,040,000		
		増減差額	0		
当期活動増減差額			40,209,270		
繰越活動 増減差額の部	前期繰越活動増減差額		418,071,017		
	当期末繰越活動増減差額		458,280,287		
	基本金取崩額		0		
	その他の積立金取崩額		3,180,699		
	その他の積立金積立額		770,580		
	次期繰越活動増減差額		460,690,406		

※平成27年度は、新会計基準への切り替えの初年度にあたるため、前年度決算との比較は省略させていただきました。
但しサービス活動増減の部については、科目を精査し参考として掲載しました。

こぶし園希望登園 今回は「企業見学&プチ旅行」



こぶし園
の7月2日の
希望登園
は、利用者
のみなさん
から希望の
あった「企
業見学」と

「プチ旅行」を合わせて実施しました。

知っている方も多いかもしれませんが、今回は山梨県のシャトレゼの工場に見学に行ってきました。こぶし園でも市田柿を作っていますが、食品を作る時どんなことに気をつけているのかをしっかりと見学してきました。参加者からは「身支度がとても綺麗!」「みんな真剣に仕事している!」「話を

事業所の日 第二こぶし園 音楽とスポーツを楽しむ

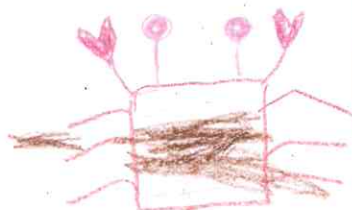
第二こぶし園では、毎月1回事業所の日を設けており、6月24日には、午前中はボランティアの皆さんによる紙芝居やアコーディオンの演奏に合わせて歌を歌い、楽しいひと時を過ごしました。午後からは豊丘村内の屋内ゲートボール場（スポーツ館）でグラウンドゴルフをしました。

グラウンドゴルフは、豊丘村ゲートボール連盟の方々に教えていただき、二つのコートに分かれてプレーしました。小さいゲートにボールをくぐらせることは、思ったより難しいものでしたが、真剣に集中して取り組み、時間も忘れて思いっきり走り回り、体を動かして楽しみました。

参加した全員がとても良い笑顔で素敵な一日になりました。



よし
入れるぞ!



まな

夏の行事

してないね。」などたくさんの感想が聞かれました。

最後にはシャトレゼのアイスの食べ放題というおまけ付き!たくさん食べた人は「4つ食べたよ!」という人もいました♪

今回の見学を通して知ったことを今後の園での仕事にも生かしていきたいと思います!



いくつ食べたの?



グース

電車の旅—in川路—



7月9日土曜日に、グースのイベントとして、元善光寺から川路までの電車の旅を楽しみました。電車の中では、自分でお金を数えて車掌さんから切符を買ったり、景色を見たりしました。

川路駅で電車を降りると、「かわらんべ」まで歩いて行き、そこで展示物を見てきました。天竜川に生息する生き物を展示したミニ水族館に参加した皆さんは興味津々で「大きいカエル!ザリガニもいるよ!」と大興奮でした。

お昼は川路駅近くの「かぶちゃんカフェテリア」でバイキングを楽しんできました。好きな料理を好きなだけ…自分で食べきれぬ量を考えながらお皿に載せて、お腹一杯食べ、利用者さん、スタッフみんなで楽しみました。

あれこれ

飯伊障がい者スポーツ大会へ参加



ヨーイドン!

毎年恒例となっている福祉事務所主催の障がい者スポーツ大会が6月4日(土)に松尾の総合グラウンドと体育館で開催されました。

好天の下、グラウンドでは陸上競技・フライングディスク・ソフトボール投げなどで熱戦が

展開され、室内では卓球競技に多数の「こぶし選手」が出場しました。

午後は、全体レク的な種目で「みずみずたまれ」「ペタンク」「メドレーリレー」で楽しみました。

「こぼれちまって
ダメだ!こりゃ!!」



喬木村主催 小学生スポーツ交流会 パドル・アイビス・グースが参加



Let's Dance!

喬木村が主催する小学生スポーツ交流会が、6月26日(日)に喬木村中央社会体育館で開かれました。この交流会には地元の小学生をはじめ、飯田養護学校へ通う小学生親子、こぶし会からもパドルダック、アイビス、グースを利用している小学生とスタッフが参加しました。

開会行事に続き、みんなで大きな輪になって“妖怪ウォッチ”や“ベリー&ゴー”のダンスを踊りました。人気のナンバーに皆さんノリノリで踊っていて、自然と笑顔が溢れていました。

休憩時間には、揚げパンとキュウリの一本漬けをいただき、学校給食でも大人気の揚げパンを食べられてとても幸せそうでした。

その後はサンスポート駒ヶ根のスタッフさんが中心となって、ボールを使ったスポーツで身体を動かしました。汗びっしょりになるほど参加者の皆さんは楽しむ事が出来ました。またこの行事には中学校のボランティアの皆さんも参加し活躍していました。

グループホーム 卓球とペタンク加え交流

毎年恒例の飯伊圏域グループホーム利用者交流会が、5月15日に松川青年の家で開催されました。

昨年まではレクリエーションは風船バレーだけでしたが、今年からは卓球と室内用ペタンクを加え、やりたいものを順番で楽しむことができました。昼食は焼肉とあゆみ園さんの「あゆむすび」をいただきました。

午後は高森町の太鼓のグループの方に演奏をしていただき、最後に「幸せなら手をたたこう」を利用者さんも一緒になって演奏しました。



ぽっぽ 今年もブルーベリー狩りへ

去年に引き続き、こぶし園のブルーベリー畑にて2日間ブルーベリー狩りを楽しみました。

天気も良く暑い中でしたが、涼みながら食べる方、木と木の間に立ち込んで黙々と食べる方…と、様々なスタイルでブルーベリー狩りを満喫しました。

お仕事をしているこぶし園の皆さんが「これ食べていいよ!」とブルーベリーを摘んでくださったり、一緒にお話をしたりと親睦を深めることもでき嬉しかったです。

ぽっぽの利用者さんからは「おいしい!!」「楽しかったなあ〜!また来年も行きたいな!」と、今から来年のブルーベリー狩りを楽しみにする声が聞かれました。



アイビスの中学生 高校の公開授業を見学

5月7日(土)アイビスの中学生5人がOIDE長姫の公開授業を見学に行きました。

3年前、旧飯田工業高校と交流をさせていただき、声で動くロボット、センサーで自分の影が躍るなど興味深い体験をしたこともあり、物造りができる高校として男子には関心の深い学校です。

それぞれのクラスではパソコンでのプログラミング、

機械を使って文字を掘る、実際に溶接を見るなど、普段は目にすることのない授業を見学させていただきました。

対応してくださったのは生徒さんで、中学生にも丁寧にわかりやすい言葉で説明してくださり、進路選びの参考になったことと思います。同行したスタッフもレベルの高さに感心してきました。



★ 軽のリフト車を導入

昨年、ゲースに車イスが4台乗れるワゴン車が導入されましたが「1人乗りもあるといいなあ」との要望

も出ました。そこでこの度ヘルパーステーションに車イス1台対応のリフト車が導入されました。

納車から2ヶ月になりますが、小回りのきく軽自動車は、送迎や移動支援のお出掛けに活躍しています。この車に乗っていっぱいお出掛けしてもらえたらいいなあと思います。



細きよすが第6報

「にんにく作業」

「黒にんにく」ブームに乗かって…、とある企業さんが大規模なニンニク栽培を始めていて、その作業過程の中でこぶし園の利用者さんに適したお仕事をいただいています。

写真はニンニク畑の草取り作業です。この他には収穫・ばらし・皮むき・植え付け作業など人海の手作業のお仕事をいただいています。



いざという時のために

近年大きな地震が各地で発生しており、この地域もいつ起こるかわからない状態です。

パドルダックでは重度心身障害の利用者さんが増えており、呼吸器使用のお子さんもいることから、停電に備えて自家発電機を購入しました。カセットのガスボンベ2本使用で900W約2時間使用できます。大きな災害がないことを願いつつ、誰でも使えるようにしていきたいと思います。



「在宅での呼吸管理」勉強会



6月18日、すけっとの訪問にかかわっている看護師とスタッフを対象に「在宅での呼吸管理」について、日赤病院総合内科医の伊藤先生をお招きし、勉強会を開きました。肺の生態と基礎知識、呼吸音で注意すべき音、人工呼吸器の仕組み・注意点など教えていただきました。専門的で難しい内容でしたが、スタッフは言葉を知ること、看護師は日々のケアを再確認し理解を深め一層充実させていくことの機会となりました。

法人研修案内「感覚統合療法の研修」

【日 時】9月25日(日) 午後1時～4時

【場 所】豊丘村 「ゆめあるて」

【講 師】作業療法士 小野昭男さん

「感覚統合の考え方」

人間は様々な感覚を感じ、生きていくための学習をする「感覚統合」という発達過程があります。この発達に偏り（障がい）がある場合に、どう支援するかという視点で学びます。

その後の計画として、10月18日(火)・11月16日(水)・12月14日(水)の夜7時から研修が組まれています。



保護者の広場

本人の集い「チャレンジ下伊那」への入会を 来年は10周年記念旅行の計画も



下伊那手をつなぐ育成会会長

大平 邦美さん

手をつなぐ育成会（親の会）の障がい者本人の会であるチャレンジ下伊那と飯田元気会では、合同の日帰りバス旅行を7月17日（日曜日）に行いました。この日は障がい者本人・支援者合わせ44名が参加し、「話題の舞台・上田」と「軽井沢・鬼押出し」に行ってきました。

この本人の会は、平成16年7月、長野県手をつなぐ育成会本人部会「チャレンジながの」が結成され、20年7月には「チャレンジ下伊那」の会も結成発足しました。あくまでも障がい者本人のみが会員となり活動する団体で、内容はレクリエーション・スポーツ・お楽しみ会・話し合い・創作活動・勉強会・グループ間の交流会などです。本人のみが決定権を持ち、それ以外は支援者（サポーター）です。この会を、手をつな

ぐ育成会が支援しています。

バス旅行は、飯田市本人部会「元気会」に交流を呼びかけ、毎年実施し今年で9年目を迎えました。毎回車内は盛り上がり、自己紹介に始まり、カラオケ・食事・ビンゴゲームと賑やかでとっても楽しいゆかいな旅行になっています。来年は10周年を迎えます。「記念旅行が出来たらいいなあ」と思っています。本人の集い「チャレンジ下伊那」へ入会し、お互いの交流を深めませんか？入会お待ちしております。



利用者さんの横顔

こぶし園

やの としお
矢野 俊夫さん



去る6月12日、サンスポーツ駒ヶ根卓球大会が駒ヶ根市民体育館で開催され、ビギナーの部に出場した矢野俊夫さんが見事に優勝されました。

この大会は初出場でかなり緊張気味でしたが、常連で昨年度のランキング選手に11本勝負「8-10」からの大逆転で勝利し、決勝トーナメントに勝ち進みました。この優

勝は、こぶし園に設置された2台の卓球台で、連日、利用者さんが打ち合っていて矢野さんは師範代格で楽しんでいただことにあります。

学生時代は陸上部の長距離ランナーでした。駅伝やマラソン、野球を見ることが大好きで、「大の巨人ファン」です。

グループホーム

なかしま かつと
中島 克人さん



僕は中島克人といいます。グループホームで暮らしています。

4月から紙ふうせんに通っています。紙ふうせんではバリ取りをしています。

バリ取りの仕事は良いです。7月に紙ふうせんで日帰りバス旅行で山梨県へ行ってアイスクリームを食べてアスレチックをしてきました。

17日には手をつなぐ育成会のバス旅行で軽井沢へ行ってきました。

紙ふうせんに行くようになって気持ち良くなりました。これからもがんばりたいと思います。

この4月から思い切って新しい生活を始めた克人さんです。表情も変わり、とても積極的になり、ただいま第二の人生を謳歌中です。

こぶし園

安田 真由美
(生活支援員)



こぶし会にお世話になって10年、最初ぼっぽに1年、第二こぶし園に異動して7年、その後はこぶし園で2年目を迎えております。

作業担当は受託班で企業からの仕事を利用者さんと一緒に頑張っています。最初不安だらけのこぶし園での支援でしたが、だいぶ慣れて楽しく支援できるようになりました。毎日家庭と仕事でてんやわんやしている私ですが唯一の楽しみが「南こうせつ」のコンサートに主人と出かけることです。これからも二人で身体が動く限り追いかけるつもりです。

私事になりますが、いよいよおばあちゃんになる日が刻々と近づいています。うれしいけど…孫がぁ？歳とったなぁ〜と実感する今日この頃です。

職員の素顔

グループホーム

筒井 美智代
(世話人)



いちょうの庭の百日紅の花がきれいに咲き誇っています。いちょう開設時に50センチに満たない小さな苗を植えたものです。今では2m以上の木に成長し、年ごとに花数を増やしています。木の生長に年を経たことを感じます。

前の駐車場にはパワーすぽっとが建ち、隣のリンゴ畑は木が切られたりとこの10年ですっかり景観は変わりました。

十数年平々凡々と世話人として過ごしてきましたが、突然の原稿依頼に「困ったなあ」といちょうの皆の前で言ってしまいました。すると「自信をもって書きな」の声、皆に後押しされていたんだと今頃になって気がつきました。定年までわずかですが頑張ります。

職員の動き



本部
事務員
市澤 恵奈

4月より本部でお世話になっております市澤恵奈です。

始めに感じたのは、利用者さんや職員のみなさんが、みんながみんなのために一生懸命ななということでした。

知識も経験もなく不安ばかりですが、元気なあいさつと気さくに声をかけてくれる園のみなさんに毎日救われています。あと、毎日みなさんと食べる給食も楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。



第二こぶし園
生活支援員
森岡 陽子

5月より「第二こぶし園」で働かせて頂いています森岡です。以前よりこぶし園の様な福祉施設で働き学びたいという思いもあり、本当に感謝し嬉しく思っています。

まだ知識も経験も浅く、毎日「どうすれば？」と戸惑う事ばかりですが、純粋で優しい利用者さん、明るい職場の方々に助けて頂き、毎日楽しく学ばせて頂いています。

一人ひとりの気持ちを大切に、笑顔で頑張りたいと思っています。



グループホーム
世話人
久保田 利恵

4月よりゆうハウスでお世話になっています久保田です。全くの素人の私がお世話になれるか心配で、不安を抱きながら実習させていただき、いつの間にか4ヶ月が過ぎました。

利用者さんから名前を呼んで頂けるようになり、笑顔で迎えてくれる時には、嬉しくて嫌なことも全部忘れてしまいます。これからもいろいろ教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。



今年の夏も異様な暑さで体調を崩しやすくなる季節ですね。私自身、暑さが苦手で避暑地を求めてよく某ゲームセンターへ逃げ込みます。店内は冷房が効いており、冷たいジュースが買える自販機まで完備。まさに快適な空間ですが、店内に置いてあるUFOキャッチャーにどハマリし…現在、私は「熱中症」。おあとがよろしいようで。

(グース 加藤雅也)